



高知家の工業

2024 研修ガイドブック

高知県工業技術センター

(2024年4月1日 第1版)



<p>【技術者養成講座】</p>	<p>後援：一般社団法人高知県工業会 公益財団法人高知県産業振興センター 高知県中小企業団体中央会 高知県商工会連合会 一般社団法人高知県製紙工業会</p>
<p>【中核人材養成講座】 「中小企業大学校 四国キャンパス」</p>	<p>共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構 四国本部 後援：一般社団法人高知県工業会 公益財団法人高知県産業振興センター 高知県中小企業団体中央会 高知県商工会連合会 一般社団法人高知県製紙工業会</p>

研修のポイント

- ①技術スキルの向上をめざした人材育成、②企業の具体的な改善活動の促進、③企業の自立的・継続的な取り組みを支援する
- 産業振興センターの事業戦略づくりを生かし、生産技術コーディネーターや工業会などと連携して「生産性の向上」を推進

分析化学

化学分析初級者の方を対象としたガラス器具の使い方や安全管理から、当センターが保有する設備を使用した分析機器まで、化学分析業務全般を研修します。

材 料

製造業の現場担当者を対象に、電子顕微鏡などによる観察、評価、機器分析、異物トラブル対処法などについて研修します。特に金属を対象として熱処理、材料試験、組織検査、非破壊検査を学びます。

計測技術

製造業の現場担当者を対象に、現場環境や製品管理に関する測定技術について研修します。

食 品

酒造技術者、食品関係の品質管理者及び研究開発技術者を対象に、各分野に応じた技術研修を実施します。地域食材の加工試作についてはオンデマンド研修を行います。

環 境

企業経営者及び部門担当者及び行政の担当者を対象に、関連制度（Jクレジット制度、カーボンプライシングなど）や評価手法（LCAなど）について基礎から実践までを研修します。

中核人材養成 講座

中小企業大学校と連携
生産工程の改善等に取り組むため、「現場改善の基本を身に付ける！」

期待する効果

- ①改善のための技術的課題の明確化
- ②課題を解決できる技術スキルの習得
- ③習得した技術スキルを生かし改善を実行

企業の具体的な改善活動

- ◆生産性向上等に必要となる技術スキルの習得
- ◆「改善」に取り組む企業の成功モデルづくりと取組の拡大
- ◆企業の自立した継続的な取組への発展

企業における継続的な改善の取組

2024年度 研修スケジュール

<p>2024年 4月</p>	
<p>5月</p>	<p>化学分析① 湿式分析-分析の基礎 (5/17) P.3</p> <p>化学分析② 湿式分析-無機分析の基礎 (5/24) P.3</p>
<p>6月</p>	<p>食品③ 地産外商に向けた食品開発勉強会【HACCP】 P.10</p> <p>環境① 初歩からわかるJ-クレジット制度 P.11</p>
<p>7月</p>	<p>食品③ 地産外商に向けた食品開発勉強会【機能性表示】 P.10</p>
<p>8月</p>	<p>食品③ 地産外商に向けた食品開発勉強会 【栄養成分表示と賞味期限設定】 P.10</p> <p>環境② 「J-クレジット制度」の実務 P.11</p>
<p>9月</p>	<p>化学分析③ 湿式分析-無機分析の応用 (9/6) P.3</p> <p>化学分析④ X線分析-X線回折装置 (9/13) P.4</p> <p>食品③ 地産外商に向けた食品開発勉強会 【おいしさの見える化】 P.10</p>

10月	化学分析⑤ X線分析-蛍光X線分析装置 (10/4)	P.4
	材料⑤ 異物分析-電子顕微鏡 (10/11)	P.6
	化学分析⑥ ガス成分分析 (10/25)	P.4
	中核人材養成講座 『現場改善の基本を身に付ける!』 (10/25)	P.13
11月	材料② 材料試験-材料試験 (全2回)	P.5
	中核人材養成講座 『現場改善の基本を身に付ける!』 (11/22)	P.13
12月	材料③ 材料試験-金属組織 (全2回)	P.5
	環境③ 環境経営関連セミナー	P.11
2025年 1月	材料④ 材料試験-金属材料非破壊検査と成分分析	P.5
	材料① 材料工学論-熱処理の基礎 (全2回)	P.5
2月		
3月		
	測定技術① ノイズ対策技術セミナー (全3回)	P.8
オンデマンド	材料⑧ 材料工学論-プラスチック材料の基礎	P.7
	測定技術② 測定・設計研修	P.8
	食品① 特区内の酒類製造に係る技術講習	P.9
	食品② 地域食材活用のための加工食品試作研修	P.9

化学分析① 湿式分析-分析の基礎**【ねらい・内容】**

湿式分析は、固体試料を酸やアルカリで分解し溶液化する前処理と、古典的な手分析（容量法など）から機器分析（原子吸光法など）までの各種測定方法とを組み合わせた分析手法のことで、分析の基本となるものです。

この研修では、分析初級者の方を対象として、前処理操作に係るガラス器具の正しい取扱や安全な作業方法など分析に関する基礎を座学と実習を交えて習得できます。また、この研修と「化学分析②無機分析の基礎」とを併せて受講していただくと、湿式分析に対する理解がより深まります。

<日時>令和 6 年 5 月 17 日(金) 10:00~17:00

<場所>高知県工業技術センター A 棟 5F 第 3 研修室ほか

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 岡崎 由佳、矢野 雄也、竹吉 優樹

<受講料>無料 <対象>品質管理・研究開発部門の技術者 <定員>10 名

化学分析② 湿式分析-無機分析の基礎-原子吸光法・ICP 発光分光分析法・ICP 質量分析法**【ねらい・内容】**

この研修では、分析初級者を対象として、代表的な分析装置である原子吸光分析装置・ICP 発光分光分析装置・ICP 質量分析装置の原理と特性を学ぶとともに、原子吸光分析装置と ICP 発光分光分析装置の実習により、前処理操作から機器分析まで一連の無機分析が習得できます。

また、この研修と「化学分析①分析の基礎」とを併せて受講していただくと、湿式分析に対する理解がより深まります。

<日時>令和 6 年 5 月 24 日(金) 10:00~17:00

<場所>高知県工業技術センター A 棟 4F 会議室ほか

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 岡崎 由佳、矢野 雄也、竹吉 優樹

<受講料>無料 <対象>品質管理、研究開発技術者 <定員>5 名

化学分析③ 湿式分析-無機分析の応用-湿式分解処理による微量元素分析**【ねらい・内容】**

湿式分析において、試料の溶液化（前処理操作）は分析精度に直結します。特に微量元素を分析する際にはその影響が大きくなるため、外部からの汚染物質を持ち込まないことや揮散等による試料の損失を防ぐことなどが求められます。

この研修では、持参していただいた試料を用いて、前処理操作の精度を高める方法と、ICP 発光分光分析装置を使用した微量元素分析法を習得します。

<日時>令和 6 年 9 月 6 日(金) 10:00~17:00

<場所>高知県工業技術センター A 棟 3F 工業材料分析室

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 岡崎 由佳、矢野 雄也、竹吉 優樹

<受講料>無料 <対象>品質管理、研究開発技術者 <定員>5 名

化学分析④ X線分析-X線回折装置

【ねらい・内容】

X線回折は、他の機器分析法ではできない化合物や結晶構造の同定、残留応力等の詳細な情報が得られるという特徴があります。

この研修では、X線回折の原理を学ぶとともに、実際の分析に必要な試料調製や装置の操作の方法を実習することで、X線回折装置を活用した基本的な分析技法が習得できます。

<日時>令和6年9月13日(金)13:30~17:00

<場所>高知県工業技術センター C棟 2F X線回折分析室

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 伊吹 哲、竹吉 優樹

<受講料>無料

<対象>品質管理、研究開発技術者

<定員>5名

化学分析⑤ X線分析-蛍光X線分析装置

【ねらい・内容】

X線分析は、素材や材料の開発、各製造工程の品質管理において、主成分や不純物の測定、不良原因元素の推定など多くの機会でも活用されています。

蛍光X線分析は、試料の前処理や測定操作が他の機器分析と比べて簡単で、迅速に非破壊で分析ができるといった特徴があります。

この研修では、蛍光X線分析の原理を学ぶとともに、実際の分析に必要な試料調製や装置の操作の方法を実習することで、蛍光X線分析装置を活用した基本的な分析技法が習得できます。

<日時>令和6年10月4日(金)13:30~17:00

<場所>高知県工業技術センター A棟 3F 第4機器分析室

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 竹吉 優樹、伊吹 哲

<受講料>無料

<対象>品質管理、研究開発技術者

<定員>5名

化学分析⑥ ガス成分分析

【ねらい・内容】

ガスクロマトグラフ(GC)は、ガス状の化合物や気化しやすい化合物を同定・定量することができ、食品や化成品の品質管理、大気や水の環境分析などに利用されています。

この講座では、ガス成分分析の基本であるGCと、精度の高いガス成分分析ができるガスクロマトグラフ質量分析装置(GC-MS)の原理を学ぶとともに、試料調整から分析まで実習することで、異臭などのおい成分や揮発成分の分析を行うために必要なガス成分分析技法の基礎が習得できます。

<日時>令和5年10月25日(金)10:00~17:00

<場所>高知県工業技術センター A棟 3F 第2機器分析室

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 鈴木 大進、矢野 雄也

<受講料>無料

<対象>品質管理、研究開発技術者

<定員>5名

材料① 材料工学論-熱処理の基礎

【ねらい・内容】

鉄鋼材料に強度と靱性を付与するのが熱処理技術です。しかしながら、材料や熱処理の基礎知識を十分に理解していないとトラブルの原因になります。本研修では熱処理の基礎について座学、実習を交えながら学んでいただきます。

<日時>令和7年1月～2月 13:30～16:30(全2回予定)

<場所>高知県工業技術センター C棟 2F CAE解析室、金属材料組織試験室

<講師>高知県工業技術センター 生産技術課 土方 啓志郎、眞鍋 豊士

<受講料>無料

<対象>経験の浅い品質管理者や現場技術者等

<定員>5名

調整中

材料② 材料試験-材料試験*

【ねらい・内容】

鉄鋼製品の材料試験は品質管理の基本になります。本研修では JIS 規格に基づいた引張試験、衝撃試験、硬さ試験を、座学、実習を交えながら学んでいただきます。

<日時>令和6年11月 13:30～16:30(全2回予定)

<場所>高知県工業技術センター C棟 1F 材料試験室、

C棟 2F 金属材料分析・組成試験室

<講師>高知県工業技術センター 生産技術課 眞鍋 豊士、土方 啓志郎

<受講料>無料

<対象>経験の浅い品質管理者や現場技術者等

<定員>5名

調整中

材料③ 材料試験-金属組織*

【ねらい・内容】

鉄鋼材料の特性を知る上で金属組織の検査は欠かせません。本研修では、金属組織とその特性を座学、観察を交えながら学んでいただきます。

<日時>令和6年12月 13:30～16:30(全2回予定)

<場所>高知県工業技術センター C棟 2F 金属材料分析・組成試験室

<講師>高知県工業技術センター 生産技術課 眞鍋 豊士、土方 啓志郎

<受講料>無料

<対象>経験の浅い品質管理者や現場技術者等

<定員>5名

調整中

材料④ 材料試験-金属材料非破壊検査と成分分析*

【ねらい・内容】

金属材料の迅速な材質判定に広く活用されている分析装置や、製品の欠陥、破損等につながる内部欠陥や残留応力を観察、測定する装置について、動作する仕組みを座学、実習を交えながら学んでいただきます。

<日時>令和7年1月 13:30～16:30(予定)

<場所>高知県工業技術センター C棟 2F 金属材料分析・組成試験室、

E棟 1F X線透過試験室 他

<講師>高知県工業技術センター 生産技術課 眞鍋 豊士、土方 啓志郎

<受講料>無料

<対象>経験の浅い品質管理者や現場技術者等

<定員>5名

調整中

※(予定)主催 高知県中小企業団体中央会

ものづくり担い手育成事業における「金属材料の破損・不良解析技術研修」

材料⑤ 異物分析-電子顕微鏡**【ねらい・内容】**

電子顕微鏡は、肉眼や他の顕微鏡では観察できない微小領域を観察でき、同時に表面元素分析(EDS:エネルギー分散型X線分析)を行うことで、観察部の元素分布状態も把握することができるため、材料の開発や品質管理など幅広い場面で活用されています。

この研修では、EDS も含めた電子顕微鏡の原理を学ぶとともに、より良い観察や表面分析を行うための試料調製や実機の操作を実習することで、電子顕微鏡の活用方法が習得できます。

<日時>令和6年10月11日(金)13:30~17:00

<場所>高知県工業技術センター C棟 1F 電子顕微鏡室

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 堀川 晃玄、伊吹 哲

<受講料>無料

<対象>品質管理、研究開発技術者

<定員>5名

材料⑥ 機器分析概論-材料分析のための機器ガイド**【ねらい・内容】**

品質管理や製品開発においては、材料を知ることが重要で、そのためには材料分析が役立ちます。効率的な材料分析には、分析する目的や材料によって分析機器や分析方法を最適に選択することが欠かせません。

この研修では、工業技術センターが日常業務で使用している分析機器や分析方法の事例に基づき、効率的に材料分析を行うための基礎知識が習得できます。

※本セミナーは講座を収録したDVDの配布形式で行います。

<配布場所>高知県工業技術センター受付にお申し付けください。

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 堀川 晃玄

<受講料>無料

<対象>品質管理、研究開発技術者

材料⑦ 機器分析概論-異物トラブル対処法**【ねらい・内容】**

十分に管理された製造ラインにおいても、製造者の想定を超えた故障や破損により異物混入等のトラブルが発生する可能性があります。こうした場合、トラブルの原因を究明し再発防止策を講じることが、ユーザーや社会との信頼関係を守るためには必要です。

この研修では、正しい異物のサンプリング(採取と保存)と機器分析による原因究明の基礎知識を学び、迅速な解決につなげるトラブル対処法の基本が習得できます。

※本セミナーは講座DVDの配布形式で行います。

<配布場所>高知県工業技術センター受付にお申し付けください。

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 鶴田 望

<受講料>無料

<対象>品質管理、研究開発技術者

材料⑧ 材料工学論-プラスチック材料の基礎(オンデマンド)

【ねらい・内容】

製品や部品を設計・開発・製造するうえで、プラスチックは欠かせない材料ですが、その種類の多さゆえに用途に応じたプラスチックを選ぶことが難しい材料です。

この研修では、プラスチックの基本的な特徴や物性に関する知識を習得し、製品や部品に使われているプラスチック材料の知見を高めます。

<日時>ご相談に応じて随時開催します。

<講師>高知県工業技術センター 資源環境課 鶴田 望、堀川 晃玄

<申込方法>電子申請システムからお申し込みください。

<受講料>無料 <対象>品質管理、研究開発技術者

測定技術① ノイズ対策技術セミナー**【ねらい・内容】**

電気電子・機械製品は、外部機器に影響がないように電磁ノイズを外へ漏らさず（輻射・エミッション）、そして、周囲のノイズからの影響を受けても製品機能を維持したまま動作する（耐性・イミュニティ）必要ありますが、製品の使用場所・時間といった特定条件での障害、ノイズ源やウィークポイントの調査等々、ノイズの問題解決に頭を悩ましている方も多いと思います。

当センターでは、ノイズの問題解決のきっかけとなるように、電磁ノイズの試験機器を導入し、昨年度からノイズに関する試験や対策についてセミナーを行ってきました。今年度も、同様に開催を予定しております。テーマ・内容に関してご希望のある方は、ご意見お聞かせください。

<日時>年3回開催、半日程度（予定）

<場所>高知県工業技術センター 研修室

<講師>センター職員、あるいは、外部講師

<受講料>無料

<対象>ノイズ試験や対策について学びたい方

<定員>各回10名

調整中

測定技術② 測定・設計研修(オンデマンド)**【ねらい・内容】**

取引先から三次元測定装置による寸法検査を要求されることから、高知県内でも装置を導入する企業が増えるなど、品質管理へ要求が増えています。また、開発した製品の強度計算結果の提出を要求されることや不具合解決のために既存製品の強度評価が必要なこともあります。

工業技術センターには、加工精度の評価に使用する測定装置（接触式と非接触式の三次元測定装置、CNC 輪郭形状測定機、表面粗さ計等）の他に、現象を計算で再現する CAE や製品の強度を実験的に調べるひずみ測定装置など設計・開発に使用する装置もあります。

過去にこれらの装置の利用研修を受けたが再度受けたい、実際の業務に合わせた測定内容を希望する等がありましたら、お問い合わせください。ご希望の内容で開催します。

<日時>ご相談に応じて随時開催します。

<講師>高知県工業技術センター 生産技術課 村井 正徳、上田 竜平

<申込方法> 電子申請システムからお申し込みください。

<受講料>無料

<対象>品質管理者、現場技術者、開発担当者等

食品① 特区内の酒類製造に係る技術講習 (醸造実習及び酒造におけるアルコール分析方法と衛生管理)

【ねらい・内容】

濁酒・リキュール等特区において新規に酒造免許を取得しようとする方を対象に、濁酒など酒類製造の基礎知識(発酵、衛生、製造、分析)を学ぶ座学と、製造及び分析の実習を行います。なお、本講習の修了により、酒造免許申請時の「技術的要件」を満たすことができます。

<場所>高知県工業技術センター

<講師>高知県工業技術センター 食品開発課 南木 嘉朗

<受講料>無料 <対象>濁酒など特区、特区予定地の新規事業者 <定員>20名

食品② 地域食材活用のための加工食品試作研修(オンデマンド)

【ねらい・内容】

レトルト殺菌装置を始めとする各種加工機器を用いた農産・水産・畜産加工品の試作を実習形式で行います。またその過程でそれぞれの食品の特性に合わせた加工技術や賞味期限設定の方法、包材選択のコツなど、食品加工の実践に必要な知識を学びます。

地域の食材を使った新たな加工品づくりの取り組みや、加工機器の導入を視野に入れた試作など、ご希望に合わせたテーマを設定することができます。まずはお気軽にご相談ください。

テーマ設定例	使用装置例	主な製品
調理・レトルト食品の製造	スチームコンベクションオーブン 小型調理殺菌装置(レトルト殺菌機) 真空・ガス置換包装機 缶詰巻締め機	・カレー ・スープ、ソース類 ・ジビエ、畜肉加工品 ・ジャム、ゼリー
乾燥食品、乾燥粉末の製造	各種乾燥機 スライサー 粉碎機	・ドレッシング類 ・ドライフルーツ、乾燥野菜 ・干物、くん製
冷凍流通食品の製造	ブライン凍結機 ショックフリーザー	・ポン酢、飲料 ・佃煮
農産物の搾汁・ペースト化	柑橘搾汁機 パルパーフィニッシャー スクリュープレス 粘体/液体充填機	・練り製品 ・各種瓶詰、缶詰 など
香りの抽出	精油抽出装置	
食品の賞味期限設定 保存性向上、殺菌 など	水分活性測定装置 各種包装機	

<日時>随時

<場所>高知県工業技術センター

<講師>高知県工業技術センター 食品開発課 近森 麻矢、阿部 祐子 他

<受講料>無料(※) <対象>食品加工事業者

※受講料は無料ですが、加工機器等を使用する場合は機器使用料が別途必要です。

食品③ 地産外商に向けた食品開発勉強会**【ねらい・内容】**

食品開発の基礎、衛生管理及び品質管理、健康志向の食品開発、味の数値化についての勉強会を全4回開催します。地産外商に向けて基本的な情報を知りたい方、日頃の生産活動で疑問点がある方、新しい食品開発に興味ある方、エビデンスに基づくマーケティングを検討したい方にオススメです。

①HACCP

<日時>令和6年6月

<講師>高知県工業技術センター 食品開発課 森山 洋憲、下藤 悟

②機能性表示

<日時>令和6年7月

<講師>高知県工業技術センター 食品開発課 森山 洋憲

③栄養成分表示と賞味期限設定

<日時>令和6年8月

<講師>高知県工業技術センター 食品開発課 森山 洋憲

④おいしさの見える化

<日時>令和6年9月

<講師>高知県工業技術センター 食品開発課 森山 洋憲、下藤 悟

<受講料>無 <対象>品質管理、研究開発、営業の担当者

<定員>30名

料

環境① 初歩からわかるJ-クレジット制度**【ねらい・内容】**

「J-クレジット制度」は、二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減・吸収量を「見える化」することで「有償価値」を生み出し、クレジットの活用による脱炭素の取組を、企業・団体間の結び付きや地域貢献としてPRできる仕組みです。このセミナーでは制度の概要から活用方法まで初歩の段階から学んでいきます。

<日時>令和6年6月 13:20~16:30

<場所>会場、オンライン (Zoom)

高知県工業技術センター A棟 2F 第1研修室

<講師>三好 一樹 氏

<受講料>無料 <対象>環境経営に関心のある企業経営者、企業・団体 <定員>100名
体の担当者

環境② 「J-クレジット制度」の実務**【ねらい・内容】**

『環境①初歩からわかる J-クレジット制度』の内容を元に、参加の皆様が二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減・吸収量を実際に算出するための方法についてご紹介するセミナーです。

<日時>令和6年8月 13:20~16:30

<場所>高知県工業技術センター A棟 2F 第1研修室

<講師>三好 一樹 氏

<受講料>無料 <対象>環境経営に関心のある企業経営者、企業・団体 <定員>20名
体の担当者

環境③ 環境経営関連セミナー**【ねらい・内容】**

グリーン化、カーボンニュートラルなど企業における環境に関する活動や環境経営について、時事の情勢に応じた情報提供を行います。

<日時>令和6年11月 13:20~16:30

<場所>会場、オンライン (Zoom)

高知県工業技術センター A棟 2F 第1研修室

<講師>調整中

<受講料>無料 <対象>環境経営に関心のある企業経営者、企業・団体 <定員>100名
体の担当者

受講申込について

【メールによる申込】

研修の受講申込は、メールにて受付いたします。研修によっては、県の電子申請システムを利用することもあります。その際は、ホームページでご案内いたします。

メールの場合は、下記必要事項を入力し、次の宛先まで送ってください。

申込先

高知県工業技術センター 研究企画課

E-mail : kkg-kenshu@ken.pref.kochi.lg.jp

※メールの件名を「研修番号」にしてください(例「基礎④」など)

必要事項

- ・研修名
- ・企業名
- ・所属部署・職名
- ・氏名
- ・メールアドレス

※1社から複数名申し込まれる場合は、所属部署・職名、氏名を人数分記載してください。

なお、新型コロナウイルスの感染状況によって研修の中止・延期・開催方法の変更の可能性があるため、申込みいただいたメールアドレスは当センターのメールニュースに登録させていただきますので、ご了承ください(既にメールニュースに登録いただいている方は除きます)。研修等の開催のご案内もメールニュースから送付いたします。

【個人情報の保護について】

収集した個人情報については当センターの事業でのみ使用し、第三者(共催・後援先を除く)への提供や開示はいたしません。

【メールニュース登録のお願い】

コロナ禍への対応として、ご案内は各研修を開催する約1ヶ月前にメールニュースでお送りする予定です。

メールニュースに未登録の場合は、当センターHP(下記URLまたは右記QRコード参照)から登録をお願いいたします。

メールニュース登録画面 → <https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/mailnews/>

メールニュース
登録画面



新規登録

希望する内容を選択してください(複数選択可能)。

工業技術センター センター共通の研修やイベント等の情報提供など

(各課が実施する研修の案内等の配信を希望される方は、下記もチェックしてください)

食品開発課 生産技術課 資源環境課

【中核人材養成講座】『現場改善の基本を身に付ける！』

講師：（一社）中部産業連盟 執行理事 主席コンサルタント 佐藤 直樹 氏
（中小企業大学校四国キャンパスとの連携講座）

日時：第1回 2024年10月25日（金） 9:00～16:30

第2回 2024年11月22日（金） 9:00～16:30

定員 20名

受講料 22,000円（税込）

第1回	
開講式・オリエンテーション	
変化に対応する「現場力」	●現場力を測る最重要指標「製造リードタイム」について、全体の効率と生産性向上を図る考え方を学びます。
物の見える化（5S）の推進ポイント	●現場改善の出発点である5Sについて目的から業績との関連性までを学びます。
管理と改善の見える化の推進ポイント	●生産管理の基本的要件となる6つの管理・改善について、目的・道具立てのポイント、留意点を学びます。
インターバル課題の説明	●現場実習に向けて、チェックリストによる現状把握とレベルアップ改善の進め方の説明を受けます。

第2回	
課題実践の成果と振り返り	●インターバル課題の発表を行い、講師等からの講評を受けます。
リードタイム短縮のポイント【演習】	●演習を通して全体最適の視点から製造リードタイム短縮の進め方を学びます。
自社における「見える化」の推進ポイント	●5SとIEの両面から自社の課題を取り上げて、今後の取組内容を発表します。
終講式・修了証書の授与	

お問い合わせ先 中小企業大学校 四国キャンパス
TEL 087-897-3101

「見える化」で実現する生産性向上

5Sと目で見える管理

[高知県高知市開催]

研修のねらい

生産年齢人口の減少や原材料価額の上昇の中、変化に対応する強い現場に変革することが求められています。現場力を高めるには、生産現場での「見える化」が重要であり、その本質を理解して推進していくことが必要となります。この研修では、「見える化」の基本である5Sに始まり、ムダ取りに欠かせないIE手法の基本を学びます。各手法を実際の自社の現状把握と改善活動で実践いただくインターバル課題や、全体最適としてのリードタイム短縮を実感するための実践演習を行うことで、今後の自社の生産性向上に活かします。

研修期間

2024年
10/25^金, 11/22^金

対象者

製造部門責任者、管理者、
リーダー等

- ・忙しいのに会社の業績に繋がらないと悩んでいる方
- ・何を改善すれば良いかのヒントを知りたい方
- ・現場改善を通してリードタイム短縮を図りたい方

定員 **20名**

受講料 **22,000円**(税込)

会場

高知県工業技術センター 2階
研修室

高知県高知市布師田3992-3
JR高知駅から車で15分
JR土佐一宮駅から徒歩で15分
高速道路高知インターから車で3分

研修のポイント

- ✓ 全体最適の視点での分析と改善手法が理解できます。
- ✓ 製造工程の停滞の原因とリードタイム改善の対策が見えるようになります。
- ✓ 自社現場を教材にすることでその後の継続的な改善につながります。

月日	時間	科目	内容
10/25 ^金	9:00-9:15	開講式・オリエンテーション	
	9:15-10:00	変化に対応する「現場力」	現場力を測る最重要指標「製造リードタイム」について、全体の効率と生産性向上を図る考え方を学びます。 ・現場力の指標は「製造リードタイム」 ・「停滞」をなくして「早く作るより早く流せ」
	10:00-13:00 (昼休1H)	物の見える化(5S)の推進ポイント	現場改善の出発点である5Sについて目的から業績との関連性までを学びます。 ・整理、整頓、清掃、清潔、躰の要諦 ・5Sが定着しない理由と改善策
	13:00-16:00	管理と改善の見える化の推進ポイント	生産管理の基本的要件となる6つの管理・改善について、目的・道具立てのポイント、留意点を学びます。 ・工程、納期管理 ・品質管理 ・作業管理 ・現品管理 ・設備、治具管理 ・改善目標管理
16:00-16:30	インターバル課題の説明	現場演習に向けて、チェックリストによる現状把握とレベルアップ改善の進め方の説明を受けます。	
11/22 ^金	9:00-11:00	課題実践の成果と振り返り	インターバル課題の発表を行い、講師等からの講評を受けます。
	11:00-15:00 (昼休1H)	リードタイム短縮のポイント【演習】	演習を通して全体最適の視点から製造リードタイム短縮の進め方を学びます。 【演習】箱作りによるリードタイム短縮演習
	15:00-16:15	自社における「見える化」の推進ポイント	5SとIEの両面から自社の課題を取り上げて、今後の取り組み内容を発表します。
	16:15-16:30	終講式・修了証書の授与	

※第2回開講までの間(インターバル期間)に、チェックリストによる採点結果、問題点と改善内容を持参していただきます。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



(一社)中部産業連盟 執行理事 主席コンサルタント
佐藤 直樹 (さとう なおき)

2002年中産連入職以来、多数の企業でコンサルティング、教育研修に従事。JRCA登録主任審査員(ISO9001:品質マネジメントシステム)。全日本能率連盟認定マスター・マネジメント・コンサルタント。専門分野はVM(見える経営・見える管理)活動の推進、品質管理を含むFMS(フレキシブル生産システム)の構築および管理・改善、管理間接業務改革・革新など。著書に「新まるごと工場コストダウン事典(共著)」など。

講座の様子は
こちらから

